

省エネ製品開発の加速化に向けた複合計測分析システム研究開発事業

平成30年度予算額 3.0億円（新規）

事業の内容

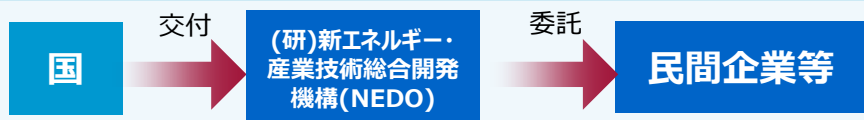
事業目的・概要

- 機能性素材等の更なる高性能化や、安定的な製造技術の確立のためには、複数の素材を最適に組み合わせたり、ナノレベルまで微細化することにより、長寿命化や低欠陥化を実現することが必要です。そのためには、様々な計測分析機器を駆使して、素材そのもの、組織構造、分子構造に関する多数のデータを複合的に取得し、高性能になる条件を導き出す必要があります。
- しかし、各機器のデータフォーマットが不統一であることからデータ連係が不十分であったり、素材メーカーの研究者個人のノウハウに依存した開発を行っていることから計測分析結果の再現性確保が困難、といった課題が存在します。
- そこで、業界の主要企業が一体となって共通フォーマットを作成し、データを一元的に集約して、総合的な評価を可能とする複合計測分析システムを開発します。

成果目標

- 計測分析機器間でのデータ利活用を拡大・迅速化させ、次世代のものづくりの競争力を底上げし、省エネ製品開発の加速化を目指します。また、計測分析機器の省エネ化に繋げる技術開発により、平成42年度において約32%のCO2削減を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

● 現状の課題と計測分析機器の例

課題

素材産業

- ✓ 素材の最適な組合せや微細化による長寿命化・低欠陥化

計測分析機器産業

- ✓ 複合的な計測分析

計測分析機器の例



質量分析装置



透過型電子顕微鏡



X線回析装置

- ✓ 各機器のデータフォーマットが不統一
- ✓ 素材メーカーの研究者個人のノウハウに依存した開発 などの課題が存在

↓ 打開策

複合計測分析システムの開発

